

2024年1月12日
プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社

本プレスリリースは、プリンシパル・ファイナンシャル・グループ（本社：米国アイオワ州）が発表したリリースの抄訳です。
（米国時間 2024年1月11日に発表）

プリンシパル®、資産運用部門の新社長にカマル・バティアを任命

パット・ホルター、40年間の勤務を経て退職

プリンシパル・ファイナンシャル・グループ®（Nasdaq: PFG）は本日、運用部門のグローバル責任者であり、プリンシパル®ファウンズの社長兼プリンシパル・ファウンズ理事会の議長であるカマル・バティアが、2024年2月10日付けでプリンシパル・アセット・マネジメントSMの新社長兼 CEO に就任することを発表しました。バティアは、2024年4月2日に40年間の勤務を経て退職するパット・ホルターの後任として就任します。この移行期間中、ホルターは部門の暫定社長を務めます。

バティアは、一般勘定を含むグローバル運用部門における戦略、運用パフォーマンス、顧客基盤の拡充および同社の6,510億ドル¹の運用資産に責任を有することになります。また、機関投資家、富裕層、退職貯蓄顧客のニーズに応えるため、パブリックおよびプライベート市場における専門性の高い個別の運用戦略、マルチ・アセット戦略、リタイアメント・ソリューションに重点を置きながら、グローバルおよびローカルにおけるサービスの継続的な拡大を指揮します。

プリンシパル・ファイナンシャル・グループ（以下、「プリンシパル」）の会長兼社長兼 CEO であるダン・ハウストンは、「資産運用ビジネスはプリンシパルにとって中核的な成長ドライバーであり、グローバルな退職貯蓄事業および給付保障事業を支える投資エンジンです」と述べています。加えて、「私たちは、才能、専門知識、経験を活かし、顧客に対する深い理解とともに運用ソリューションとパフォーマンスを提供します。私は、カマルが不安定な市場環境と進化する顧客ニーズに対応しながら、世界中で高まる運用ソリューションの需要に応えるべく、このビジネスを推進し続けていく能力を持っていると確信しています」と述べています。

バティアは、2019年にプリンシパル・ファウンズの社長兼 CEO としてプリンシパルに入社した後、2020年に資産運用ビジネスの最高執行責任者（COO）、2023年に運用部門のグローバル責任者に就任しました。同社入社以前は、プライベート・クレジット運用に特化したオープンハイマー・ファンドとカーライル・グループの合併事業である

OCプライベート・キャピタルのCEO兼取締役会長や、オープンハイマー・ファンズ、TIAA-CREFアセット・マネジメン
ト、メロン・アセット・マネジメン、シティグループといった業界内で、複数の上級管理職を歴任しました。

ホルターは、40年間の勤務を経てプリンシパルを退職します。社長として、彼は会社を著しく成長させ、プライベ
ート・マーケットや新たな地域でのアクティブで専門的な運用能力のさらなる多様化を推進しました。最近では、同社
の資産運用事業と米国外の年金事業の統合を主導し、世界各地の顧客に、ローカルかつグローバルな運用の
専門的知識や技術をより効果的に提供することに成功しました。また、彼の在職中、プリンシパル・アセット・マネジ
メントSMは、Pensions & Investments誌にて「Best Places to Work in Money Management（資産
運用業界で最も働きがいのある会社）」として毎年選出されました。ホルターは、プリンシパルに商業用不動産部
門で入社し、プリンシパル・リアルエステート・インベスターズのCEOおよび同社の最高執行責任者を務めました。

ハウストンは、「パットは40年間にわたり、プリンシパルで資産運用事業拡大の道筋を定め、850人以上の運用
プロフェッショナルを有し、80か国以上の顧客にサービスを提供する会社へと成長させる手助けをしてきました」と
述べています。「不動産運用戦略の開発における彼のリーダーシップにより、事業は米国外市場にも拡大し、プリン
シパルは世界でトップ10²の不動産運用会社となりました。私たちは、彼の確かな手腕と、顧客および資産運用
事業で最良のカルチャーを構築することへの深いコミットメントに感謝しています」と述べています。

カマル・バティアについて

バティアは、プリンシパル®ファンズの社長兼プリンシパル・ファンズ理事会の議長です。彼は以前、プリンシパル・
アセット・マネジメンSMの最高執行責任者（COO）の地位にありました。プリンシパル入社前、バティアはオープン
ハイマー・ファンズとカーライル・グループの合併企業であるOCプライベート・キャピタルのCEOを務め、プライベート・
クレジット運用に注力していました。彼は業界のベテランで、複数のグローバル資産運用会社での運用ソリューショ
ン、事業戦略、クライアントエンゲージメント、商品開発において豊富な経験を有しています。バティアはオープンハイ
マー・ファンズ、TIAA、メロン・アセット・マネジメン、シティグループにて複数の上級管理職を歴任しました。

バティアはCFA®チャーターホルダーで、インドのIITカンプールから学士号、ワシントン大学セントルイス校から修士
号を取得しています。彼は米国と欧州の理事会のメンバーです。

パトリック・ホルターについて

パトリック（パット）・ホルターは、2018年からプリンシパル・ファイナンシャル・グループの資産運用事業部門の社長
兼CEOを務めています。彼は1984年に同社の商業用不動産部門に入社し、プリンシパル・リアルエステート・
インベスターズで様々な役職に就いた後、2003年から2018年までCEOを務めました。2016年にはプリンシパ
ル・グローバル・インベスターズのCOOに任命され、2018年にはCEO兼社長に就任しました。現在、ホルターは
プリンシパル・ミューチュアル・ファンドの理事会をはじめ米国外においても様々な理事会のメンバーを務めています。

また、彼は米国投資信託協会の理事会や、ウイスコンシン大学のグラスカンプ不動産センターの理事会にも所属していました。ホルターはウイスコンシン大学で財務とマーケティングの学士号、財務の MBA を取得しています。

プリンシパル・ファイナンシャル・グループについて：プリンシパル・ファイナンシャル・グループ（Nasdaq: PFG）は、人々や企業の富と幸福の向上に貢献することに情熱を注いでいる、19,500 人¹の従業員を有するグローバルな金融グループです。創業以来 140 年以上の歴史を持ち、6,100 万人¹以上を対象とした DC 等の制度、保障、運用、リタイアメントをサポートしています。また、事業を展開する地域社会をサポートし、多様な人材を育成することにも取り組んでいます。プリンシパルは、2023 年の世界で最も倫理的な企業の一つ³として Ethisphere に選ばれ、「ブルームバーグ男女平等指数」のメンバーであり、「Best Places to Work in Money Management（資産運用業界で最も働きがいのある会社）」⁴としても認識されています。プリンシパルと私たちのより良い未来へのコミットメントについては、principal.com で詳細をご覧ください。

【注釈】

1. 2023 年 9 月 30 日現在
2. トップ 10 の評価について：グローバル不動産運用資産残高（レバレッジ考慮後、投資前のコミットメントや受領分を含む；REOC は不動産エクイティに含まれる；REIT 証券は除外）にもとづく運用会社ランキング、2022 年 6 月 30 日現在。「The Largest Real Estate Investment Managers」、Pensions & Investments、2022 年 10 月 3 日。
3. Ethisphere, 2023
4. Pensions & Investments, 2023

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社 (<https://www.principalglobal.jp>)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー11 階 TEL:03-3519-7880（代）

代表者：代表取締役社長 板垣 均

金融商品取引業者登録番号：関東財務局（金商）第 462 号

加入協会：

一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

この件に関するお問い合わせ先：

プリンシパル・グローバル・インベスターズ（株）マーケティング・コミュニケーション（TEL:03-3519-7880）